



校長室だより

学校教育目標「自ら学ぶ子供」

八代市立八代小学校
校長 村嶋 博史

R5,1,31 NO,28

子供たちは確実に学力をつけています

12月に行われた熊本県学力調査（3年以上の国語と算数）と八代市学力調査（2年の国語と算数、5・6年の社会と理科）の結果が届きましたのでお知らせします。

(ア) 本校平均正答率（県平均正答率との比較）

2年：国語79.4%（+4.0）、算数67.1%（+1.2）
3年：国語72.2%（+2.0）、算数78.0%（+6.3）
4年：国語83.8%（+13.3）、算数82.0%（+13.4）
5年：国語75.9%（+0.2）、算数70.8%（+7.3）
社会62.8%（-0.5）、理科57.7%（-2.4）
6年：国語73.7%（+0.4）、算数80.9%（+5.7）
社会59.8%（-5.1）、理科63.3%（-3.3）

*全学年が熊本県の正答率を上回るかほぼ同程度で、良好な結果でした。

(イ) 標準スコア（全国スコア50）

2年：国語48.6、算数48.5
3年：国語48.9、算数53.2
4年：国語56.2、算数56.4
5年：国語51.8、算数55.0、社会48.5、理科45.9
6年：国語49.5、算数54.8、社会48.0、理科46.3

*全学年が全国スコアを上回るかほぼ同程度で、全国的に見ても良好な結果でした。

(ウ) 同一集団による昨年度との比較（標準スコアによる比較）

国語：4年=+4.2、5年=-0.5、6年=+0.7
算数：4年=+0.3、5年=+1.6、6年=+1.5

*全学年が昨年度の標準スコアを上回るかほぼ同程度で、順調な伸びを示しました。

これまで本校では、「何を教えるか」ではなく、「子供がどのように学ぶか」を重視した子供の視点に立った授業改善、いわゆる「子供を主語にした授業づくり」を行ってきました。その具体は、

- ◇子供の問いや思いを引き出す「課題提示」の工夫
- ◇子供が学びを深める「学び合い」の工夫
- ◇子供の学びを「振り返り」の工夫
- ◇基本的な学習過程と板書の統一
- ◇ICTの有効活用

です。そして、その深化のために、全教職員による「研究授業」及び「相互参観授業」を1人年4回程度行い、互いに見合い意見を交わしてきました。

また、能動的・主体的な家庭学習の継続にも学校総体で取り組み、自学自習のコースとして、

- 「ばっちりコース」（予習・復習）
- 「がんばるコース」（苦手克服）
- 「わくわくコース」（発展学習）

の3つを提示し、その中から、教師や子供が選択できるようにし、子供の実態に応じた柔軟な取組を行ってきました。そして、モデルとなる自学自習ノートの定期的な掲示も行ってきました。

この学力調査での良好な成績は、子供たちの学習意欲と保護者の方の応援と協力、教職員の地道な努力が相まった結果だと思っています。これからも子供たちの生きる力の獲得のために、我々教職員は精一杯日々努力していきますので、変わらぬご理解とご協力をお願いします。

子育て一口メモ

「聞き上手になる」

幼児教育家 はやし浩司

子供の姿を正確にとらえるためには、聞き上手になること。自分の子供でも、他人の子供と思いい、一步退いて見るようにする。教師でも話にくいというのは、子供のことになると、すぐカリカリするタイプ。何か言おうとすると、「うちでは問題ありません」と反論する。そう反論されると、「どうぞ勝手に」となる。